JCDA
教会コンサート
≪待降節～クリスマス≫

■主催　JCDA日本合唱指揮者協会
■後援　朝日新聞社、全日本合唱連盟、音楽之友社、カワイ出版、教育芸術社、
全音楽譜出版社、Pana Musica、オペラアーツ振興財団、
21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」、コーラス・カンパニー、
ICOT東京国際合唱機構、全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）

ARTS for the future! ▶2

音の名残とともに

いったいどれだけ多くの人々がその高みを見上げ祈りを捧げてきたことでしょう。

丹下健三氏によって設計され、1964年に竣工した東京カテドラル聖マリア大聖堂は、日本のカトリック信徒の皆様方にとっての大切な場所であると同時に、私たち合唱芸術を愛好する人間にとっても、同じく大切な場所であり続けています。

JCDA日本合唱指揮者協会が、「知られざる名曲をたずねて」連続演奏会（1971年～1990年）に始まり、「教会暦による演奏会シリーズ」（1991年～1999年）「教会シリーズ」（1999年～2012年）と連綿と続けてきた「祈り」の音楽を体現する事業も、このカテドラルで開催されてきたものです。

2012年4月13日金曜日に開催した、教会シリーズ Vol.10《イエスの生涯》以来、実に10年ぶりのカテドラルでのコンサート再開に際して、監修の金澤正剛先生とも打ち合わせを重ねて、「待降節からクリスマス」をテーマにプログラムを組み立てることにいたしました。

コンサートの前半には、教会暦において、クリスマス当日を迎える夜半のミサに演奏される、シャルパンティエの「真夜中のミサ曲」を全曲演奏いたします。

17世紀当時のフランスの民衆によって歌われてきたノエルが随所に鏤められている祝祭的な音楽をご堪能ください。

そして、コンサートの後半には、待降節からクリスマスのミサにおいて演奏される6つの聖歌に、6人の日本人作曲家の皆様方により作曲していただいた、ラテン語による新作モテットを世界初演いたします。

このような企画は、JCDAとしても初めての試みであり、この作品群が、日本国内にとどまらず、世界中の合唱団のレパートリーとして広がっていくことを切に願っております。

真夜中のミサと6つの新作のモテット、それぞれが残響8秒という豊かな空間の中で、どのような祈りの音楽として花開くのか、今から楽しみです。

本年の待降節第一主日は、昨日、11月27日日曜日にあたっています。

今年の残りのひと月が、今宵の心豊かになる音の名残とともに、イエスの生誕を待ち侘び祝す佳き時間となりますように。

JCDA教会コンサート制作委員長
仁階堂 孝

©TAKENAKA HISANORI

ごあいさつ

JCDA日本合唱指揮者協会理事長
名島 啓太

本日はJCDA教会コンサート《待降節～クリスマス》にご来場くださいまして誠にありがとうございます。東京カテドラル聖マリア大聖堂におけるJCDA日本合唱指揮者協会主催のコンサートとしては、10年ぶりの開催となります。これまでも《教会暦による演奏会シリーズ》や《教会シリーズ》など、この聖なる空間でキリスト教音楽の真髄に触れるコンサートを企画してまいりましたが、本日も、救い主イエスの誕生を心待ちにしながら準備をする期間である待降節と、まさにキリストの降誕を記念する日であるクリスマスの音楽をお届けします。

プログラムは、民衆に歌い継がれてきた「クリスマス・キャロル」がたくさん織り込まれ、人々に親しまれてきたフランス・バロック期の傑作クリスマス音楽であるシャルパンティエ作曲「真夜中のミサ曲」に加えて、6人の作曲家（千原英喜、土田豊貴、寺嶋陸也、なかにしあかね、新実徳英、山中千佳子の各氏）による新作モテットの全曲初演となります。このたび初演される日本人の手によって生まれた作品が、これから世界中で待降節やクリスマスに歌われるようになるかもしれません。そう想うと今日の初演は、まさに歴史的瞬間というべき、大変貴重な機会となります。東京カテドラル聖マリア大聖堂という特別な空間で、特別な時間を、是非最後までごゆっくりお楽しみください。またこの模様はライブストリーミング配信され、2022年12月31日（土）までアーカイブ映像が視聴可能となっております。時間と場所を選ばず、繰り返し歴史的瞬間に立ち会っていただくことも可能です。併せてお楽しみいただければ幸いです。

また、本公演に先立ちまして、コンサートの内容をより深く楽しんでいただくために、3つのオンラインセミナーが開催されました。

11月14日には「待降節、降誕節って？ ～教会暦と合唱音楽を学ぶ～」と題しまして、キリスト教の暦と合唱音楽の関係について、那須輝彦先生にご講義いただき、11月18日には、プログラムの柱の一つであるシャルパンティエ「真夜中のミサ曲」について、～その魅力を語る～と題しまして、作品の内容や成り立ち、演奏法などについての興味深いお話を、金澤正剛先生にご講義いただきました。また11月23日には、このたび新作モテットを委嘱させていただき、素晴らしい作品を生み出してくださいました6人の作曲家が一堂に会し、～モテットを書くということ～と題して座談会が開かれました。この3つのオンラインセミナーも、お申込みいただきますと2022年12月31日までアーカイブ映像をご視聴いただけますので、コンサートと併せて是非ご覧いただきたいと思います。

最後になりますが、本公演を迎えるにあたり、様々にご指導賜わりました金澤正剛先生、那須輝彦先生、作曲の労をお取りくださいました作曲家の皆様、共演してくださいますオルガニストの浅尾直子先生、ご出演下さいます指揮者と合唱団の皆様に心より感謝申し上げます。

JCDA教会コンサート〈待降節~クリスマス〉

金澤 正剛

今年のJCDAの演奏会は待降節2日目の月曜日に開催されます。そこで今回はまず前半でクリスマスの名曲マルカントワーヌ・シャルパンティエの《真夜中のミサ曲》を歌い、後半では待降節からクリスマス当日の間で歌われるラテン語の聖歌から6曲を選び、それぞれの聖歌にもとづいて6人の作曲家の方々に新曲を書いていただくことにしました。その6つの聖歌とは次の通りです。

Veni, Redemptor gentium ＜来たれ、人々の贖い主よ＞
　待降節、晩課のイムヌス（賛歌）
Benedicta es tu, Virgo Maria ＜あなたは祝福された、処女マリアよ＞
　12月8日（処女マリアの無原罪懐妊の祝日）のミサで歌われる昇階唱
O Radix Jesse ＜おお、エサイの根より＞
　12月19日の大交唱
O magnum mysterium ＜おお、大いなる神秘＞
　クリスマス当日の朝課で歌われるレスポンソリウム（応唱）
Puer natus est nobis ＜みどりごがわれらのために生まれた＞
　クリスマスの日のミサ入祭唱
Hodie Christus natus est ＜今日キリストがお生まれになった＞
　クリスマスの日の第2晩課のマニフィカトの交唱

プログラムの前半で歌われる《真夜中のミサ曲》の作曲者マルカントワーヌ・シャルパンティエは、1643年にパリの公証人の息子として生まれた。彼の若年時代に関しては何も分かっていないが、恐らくイエズス会で教育を受けたのではないかと推察されている。青年時代にイタリアを目指して旅に出て、1666年の5月から1667年12月の間にローマへ到着した。それが画家を目指してであったという説もあるが、確認はされていない。ローマではイエズス会と深い関係のあるオラトリオの祖、ジャコモ・カリッシミに師事したものと思われるが、当時のローマの作曲家たちの作品を熱心に学んだことは、それらの作曲家たちの作品を書き写して、パリに持ち帰った彼自身の手書きの楽譜が残っていることから分かる。

約3年間をローマで過ごしたシャルパンティエは、1670年の受難節までにはパリに戻り、ルイ14世の従姉妹にあたるマリー・ド・ロレーヌの壮大な館の中に住み込むこととなった。マリーは「マドモワゼル・ド・ギーズ」の通称でも知られ、熱心なイエズス会の会員であると同時に音楽愛好家で、優秀な音楽家たちを多数召し抱えていたことでも知られる。以後約18年にわたって、シャルパンティエは彼女の住み込み作曲家兼歌手（カウンターテナー）として活躍し、その間にカリッシミ譲りのオラトリオや様々な宗教曲をイエズス会のために作曲することとなった。一方ルイ14世のお気に入りの宮廷作曲家リュリがシャルパンティエの才能に気付き、後者が宮廷での仕事に就くことをあらゆる手段を用いて妨害したという説もあるが、恐らくそれは風説に過ぎないだろう。しかし、1672年に劇作家モリエールがリュリと仲違いした時に、代わりに協力を求めてきた先がシャルパンティエのもとで、以後後者はコメディー・フランセーズと深い関係を持ち続けることになり、数々の劇音楽を手がけることとなった。また1679年以後には若い皇太子の礼拝堂の音楽を任されるようにもなり、それに応えてルイ14世は彼に年金を与えた。1693年12月4日に彼のオペラ《メデー》が初めてオペラ座で上演されたものの、成功とまでにはいかなかったのは、リュリ信奉者たちの妨害によるものとも言われている。1698年には王室礼拝堂の楽長に就任し、1802年2月24日に死去した際には、王室礼拝堂内に葬られたという。

シャルパンティエは特にクリスマスのために、複数のオラトリオやパストラーレなど、数多くの作品を残している。なかでも《真夜中のミサ曲》では、当時パリ周辺で愛唱されていたクリスマスのノエル（フランスのクリスマス・キャロル）の旋律を数多く引用して、極めて分かり易い書法で作曲されているので、さぞや当時の会衆の心にも親しみを持って受け入れられたものと推察される。クリスマス当日には真夜中のミサ、明け方のミサ、日中のミサと、3つのミサが祝われるのが習慣となっているが、真夜中のミサはその最初のものでまさに真夜中に祝われ、信者たちの多くはその後も夜を徹してクリスマスを祝うという習慣は、日本でも行われている。

作品は通常のミサ曲と同じく、キリエ、グローリア、クレド、サンクトゥス、アニュス・デイの5楽章から成る。オリジナルでは4声部の合唱に小編成の器楽合奏が加わるが、今回はオルガンの伴奏で演奏される。冒頭のキリエは3部から成り、第1部のキリエは序奏からノエル《ヨセフは良い妻を娶り》の旋律で始まる。続くクリステは《言って下さい、マリアよ》、最後のキリエは《ひとりの若い乙女》と、いずれもノエルの旋律を引用しながら歌われる。

かなざわ・まさかた
1934年東京生まれ。1957年に国際基督教大学教養学部人文科学科を卒業。1966年にハーヴァード大学大学院博士課程（音楽学）を修了。その後、同大学ルネサンス研究所（フィレンツェ）の所員、複数の大学の非常勤講師、米国の大学の客員教授などを勤め、1982年に国際基督教大学教授、兼同大学宗教音楽センター所長、2004年に名誉教授。現在日本リュート協会、日本イタリア古楽協会、日本ヘンデル協会等の会長。著書『モンテカシノ音楽手稿譜第871号』（1978、共著、英文）で1980年度 ASCAP賞を、『古楽のすすめ』で1998年日本ミュージック・ペン・クラブ大賞を受賞。他に『中世音楽の精神史』、『キリスト教と音楽』、『キリスト教音楽の歴史』などの著書がある。

プログラム

［監修］金澤正剛　［司会］松村 努　［オルガン］浅尾直子

第Ⅰ部

Messe de Minuit　真夜中のミサ曲

Concordia版　（W.Hitchcock編）

Marc-Antoine Charpentier

シャルパンティエ

Kyrie

Gloria

大津康平 指揮／松戸ユースクワイア

Credo

黒川和伸 指揮／VOCE ARMONICA

Sanctus

Agnus Dei

仁階堂 孝 指揮／Ensemble Evergreen

第Ⅱ部

6人の現代日本人作曲家によるモテット

～委嘱初演～

寺嶋陸也　**Veni, Redemptor gentium** ＜来たれ、人々の贖い主よ＞

待降節、晩課のイムヌス（賛歌）

藤井宏樹 指揮／Ensemble PVD

なかにしあかね　**Benedicta es tu, Virgo Maria** ＜あなたは祝福された、処女マリアよ＞

12月8日（処女マリアの無原罪懐妊の祝日）のミサで歌われる昇階唱

岸 信介 指揮／東京ウィメンズ･コーラル･ソサエティ

土田豊貴　**O Radix Jesse** ＜おお、エサイの根より＞

12月19日の大交唱

古橋富士雄 指揮／レガーロ東京

新実徳英　**O magnum mysterium** ＜おお、大いなる神秘＞

クリスマス当日の朝課で歌われるレスポンソリウム（応唱）

岸 信介 指揮／東京ウィメンズ･コーラル･ソサエティ

山中千佳子　**Puer natus est nobis** ＜みどりごがわれらのために生まれた＞

クリスマスの日のミサ入祭唱

古橋富士雄 指揮／レガーロ東京

千原英喜　**Hodie Christus natus est** ＜今日キリストがお生まれになった＞

クリスマスの日の第2晩課のマニフィカトの交唱

藤井宏樹 指揮／Ensemble PVD／北條歩夢（タンバリン）

Veni, Redemptor gentium ＜来たれ、人々の贖い主よ＞
待降節、晩課のイムヌス（賛歌）

寺嶋陸也

この詩句が生まれた当時、この言葉を綴ったひとには贖い主が現れてくれることに対する切実な思いがあったにちがいない。贖い主を呼んでいたのは、圧政に苦しむ人々だろうか。それともほかの民族に虐げられた民だろうか。
この詩句を歌い継いできた人々もやはり贖い主が来てくれることを、それぞれの時代、それぞれの境遇によって、待ち望んでいただろう。
自然災害、伝染病の蔓延などといった災厄は過去にも繰り返されてきたが、人類による環境破壊がエスカレートするとともに、そしてなんといっても人類最大の愚行である戦争の拡大によって、その規模はいまや一民族や地域にとどまらず、世界全体が悲鳴を上げているかのようだ。混迷をきわめる現代において、「来て下さい」と祈る声は人類共通の、いや、地球上の生き物すべての、そしてもはや地球そのものの切実な叫びだ。

てらしま・りくや ● 東京芸術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんにゃく座での演奏や、2003年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価された。オペラや合唱曲、室内楽、邦楽器のための曲など作品多数。ピアニスト、指揮者としても活動し、「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」「二月から十一月への愛のうた（栗山文昭の芸術2/寺嶋陸也作品集）」「寺嶋陸也plays林光」「寺嶋陸也ピアノリサイタル〜シューベルト3大ソナタを弾く〜」など、多くのCDがある。お茶の水女子大学文教育学部非常勤講師。

Benedicta es tu, Virgo Maria ＜あなたは祝福された、処女マリアよ＞
12月8日（処女マリアの無原罪懐妊の祝日）のミサで歌われる昇階唱

なかにしあかね

Benedicta es tu, Virgo Maria は、12月8日処女マリアの無原罪懐妊の祝日ミサで歌われる昇階唱（奉読台に昇る階段の上で歌われることから生じた呼称）です。
このテキストに「女声合唱で」というご指定を頂き、めざしたのは、心の迷いや濁りを一切感じさせない純度の高い礼賛です。「地上のすべての女性を超えて」女声合唱で讃えることで生まれる、クリスタルクリアーな崇仰が煌めき、その煌めきが世の女性たちをも輝かせる…そのようなレスペクトが表現できるならば、この聖なるテキストに私のような者が付曲させて頂くことも許されるのではないか、と考えました。
交唱Tota pulchra es が、ひたむきな礼賛に新たな焦点を生み出すような、静かに、確かに、心に刻みつけるような、そして輝かしいフィナーレへと向かうエネルギーを充填するような時間となることを想っております。
素晴らしい機会をお与え下さいましたJCDAの皆様、初演して頂きます岸信介先生と東京ウィメンズ・コーラル・ソサエティの皆様に深く感謝致しますと共に、JCDA教会コンサートの復活を、心よりお祝い申し上げます。

なかにし・あかね ● 東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ大学院にて作曲修士号、キングスカレッジ大学院にて作曲博士号を修める。作曲をサー・ハリソン・バートウィスル、声楽伴奏法をジェフリー・パーソンズ各氏に師事。第66回日本音楽コンクール作曲部門第1位及び安田賞受賞、国際フランツ・シューベルト作曲コンクール入賞など入選・入賞多数。歌曲伴奏者としても複数のCDが「レコード芸術」特選盤に選ばれているほか、指揮、指導、審査員、講習会講師、執筆活動など、音楽文化を多角的にとらえた活動を展開している。平成17年度文化庁在外研修員。現在、神戸女学院大学・同大学院教授。

O Radix Jesse ＜おお、エサイの根より＞
12月19日の大交唱

土田豊貴

いままでに10作品ほど、ラテン語をテキストとした合唱作品を作曲いたしましたが、ラテン語と向き合い、音楽を探っていく作業は、日本語テキストとの向き合い以上に迷いの連続であり、時に自分自身で紡いだ音が他人の音楽のように感じ、聴こえてしまうこともありました。今回のコンサートで作曲をさせていただいました「O Radix Jesse」（おお、エサイの根より）では後半部分にグレゴリオ聖歌を用いることになりましたが、多少の意図はあったものの、自然発生的にグレゴリオ聖歌の旋律へ自分の音楽が向かっていったことは、作曲をする上での新たな発見となりました。2019年に思いがけないご縁で出席させていただいたローマ教皇来日時のミサでの経験も、ラテン語の作品を作曲する上での大きな道標となっています。
最後になりますが、初演の労をお取りくださる古橋富士雄先生、レガーロ東京の皆様に感謝の意を捧げると共に、錚々たる作曲家の大先輩方（山中さんとは大学は違いますが、同期入学）に混ざり、作品を発表させていただくという貴重な機会を与えてくださった、JCDA日本合唱指揮者協会の皆様に深く御礼申し上げます。

つちだ・とよたか ● 1981年、東京都生まれ。桐朋学園大学音楽学部・カレッジディプロマ作曲科修了。2010年、女声合唱とピアノための「夢のうちそと」で第21回朝日作曲賞を受賞。第87、88回NHK全国学校音楽コンクール・高等学校の部課題曲「彼方のノック」の制作を担当。第3回東京国際合唱コンクール・ユース部門の課題曲制作を担当。近年、合唱曲を中心に多くの委嘱作品を手掛ける傍ら、合唱祭、コンクール、講習会等の各種審査員、講師を務めている。近刊には女声合唱とピアノのための「愛の縫い目はここ」など。これまでに作曲を法倉雅紀、鈴木輝昭、指揮を故・岡部守弘、高関健、ピアノを三輪郁の各氏に師事。

O magnum mysterium ＜おお、大いなる神秘＞
クリスマス当日の朝課で歌われるレスポンソリウム（応唱）

新実徳英

©A.KONDO

モテットはこれまで＜三つのアヴェ・マリア＞（浜松市文化振興財団委嘱）、＜Salve Regina F＞と＜Salve Regina G＞（同じ曲の女声版と混声版/エリザベト音楽大学委嘱）を作曲してきた。今回が4曲目（ないしは5曲目）となる。
私自身はキリスト者ではないので、キリスト教の精神は『聖書』、『神曲』、『カラマーゾフの兄弟』、『深い河』他、あるいは様々の絵画や教会などの文物、そしてこれまで作曲された宗教音楽の数々から想像し、追体験する、という範疇にある。なかでもマリア讃歌の詩句は私にとって最も共感があり、これは仏教の菩薩信仰に通底するものがあるからなのだろう。
今回の曲は九つの部分から成る。各部にモットーを付した。　1神秘の予感、2光が…、3生命たち、4秘蹟、5讃えよ、6気高さ、7アレルヤの渦、8涙するアレルヤ、9彼方へと。
女声合唱団のレパートリーとなり愛唱されていくのであれば作曲者としては望外の悦びである。

にいみ・とくひで ● 東京大学、東京藝術大学卒、同大学院修了。オペラ「白鳥」、管弦楽曲「風神・雷神」他多数。77年「アンラサージュ」ジュネーヴ国際バレエ・オペラ音楽作曲コンクールグランプリ。05年「協奏的交響曲エラン・ヴィタール」尾高賞ほか中島健蔵音楽賞、文化庁芸術祭大賞、別宮賞等多数。室内楽、器楽、邦楽、声楽、合唱作品等多数。特に「白いうた　青いうた」（谷川雁詩）全53曲は様々な形態に編曲され広く演奏されている。23年3月全5楽章の混声合唱と管弦楽のための交響組曲「生命（いのち）のうた」（N.ヒクメット詩）初演予定。近著『生きることが音楽！』（音楽之友社）。公式webサイト https://tokuhideniimi.com/

Puer natus est nobis ＜みどりごがわれらのために生まれた＞
クリスマスの日のミサ入祭唱

山中千佳子

「中世の聖歌の歌詞で、新しいアカペラの合唱曲を…」という命題をいただき、受け取った歌詞の冒頭を読んだとき、「授かりもの」という言葉が浮かんできた。それには、2020年に私自身が第一子を出産したことが無意識のうちに結びついた面もあるかもしれないが、授かりもの…何よりもかけがえのないものがスーッと天から降ろされて、伸ばした自分の両手に与えられるようなイメージが湧き、それはそのまま楽曲冒頭の旋律となった。また、Cantate Domino という非常に明快な呼びかけの箇所では、またも手は伸ばしているのだが今度は外に向かって差し出しているような情景が浮かんだ。授かった喜びを、ひろく皆と分かち合おうとするイメージと言えようか。Puer natus est nobis はクリスマスミサの入祭唱ということで、敬虔な中にもやや華やかさを内包し、親しみ深さが心に届くような楽曲になるよう書き上げている。東京カテドラル聖マリア大聖堂のあの空間に、新しい歌たちが光の粒のように立ち昇っていくさまを、「神楽月」の異名を持つ11月の夜、皆様にお楽しみいただけたら何よりの幸甚だ。

やまなか・ちかこ ● 三重県生まれ、岡山県出身。3歳からピアノ、12歳から作曲を始める。東京藝術大学音楽学部作曲科を首席で卒業。同大学大学院音楽研究科作曲専攻修士課程修了。第74回日本音楽コンクール作曲部門入選（2005）。武満徹作曲賞第3位受賞（2010）。ルトスワフスキ生誕100周年記念国際作曲コンクールにて、アジア人として唯一の佳作受賞（2013）。同年、ジュネーヴ国際音楽コンクール作曲部門にて、日本人初の二つの特別賞《Prix du public》と《Prix "Jeune public"》をダブル受賞。主要作品は独奏曲からオーケストラ作品まで幅広く、全音楽譜出版社から合唱曲や器楽・声楽作品なども多数出版されている。

Hodie Christus natus est ＜今日キリストがお生まれになった＞
クリスマスの日の第２晩課のマニフィカトの交唱

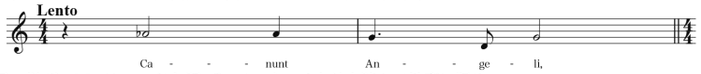
千原英喜

ちはら・ひでき ● 音楽は愛と祈りの曼荼羅宇宙とひとよんで千原わあるど。

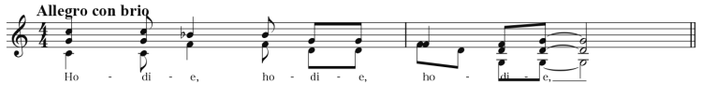
Sōranbushi Rhapsody for Mixed Chorus “HODIE CHRISTUS NATUS EST”
混声合唱のための ソーラン節ラプソディー “HODIE CHRISTUS NATUS EST”

NORAD＝北米航空宇宙防衛司令部発表―サンタクロースはフィンランドを発ち、バンクーバー、アンカレッジ、そしてカムチャッカ上空をTokyoに向け飛行中！
アイデンティティーある作品を書きたいと、ソーラン節を採り入れてラプソディックに作曲した。

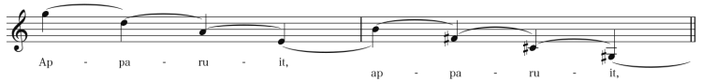
＜天使の歌唱のMotif＞ 曲開始の序奏で歌われる。曲の中間部では＜羽ばたき＞とともに用いられる。



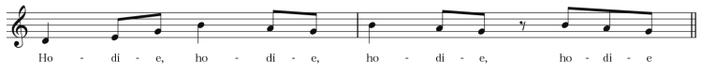
＜民の悦びのMotif＞ロンド主題・その1。人々は大地を踏んで歓喜に踊る。
クライマックスでは森の鳥獣も嬉々唱和して雄叫びを上げる。



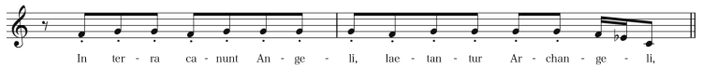
＜顕現のMotif＞ 大いなる光、喇叭の音が天から地上へ降り注ぐ。



＜ソーラン節によるMotif＞ ロンド主題・その2。



＜天使の羽ばたきのMotif＞ ソーラン節の中の部分動機を独立させた。A.コレッリは彼の「クリスマス協奏曲」に於いてヴァイオリンのトレモロで天使の羽ばたきを暗示したという。これはコレッリへの私なりのオマージュだ。



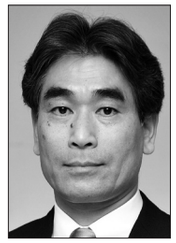
●出演

浅尾直子（オルガン）
洗足学園音楽大学オルガンコース3年次編入学及び卒業。エリザベト音楽大学大学院宗教音楽学専攻（オルガン）修士課程修了。ボストン・ニューイングランド音楽院留学。横浜みなとみらいホールオルガニスト・インターンシップ修了。現在カトリック田園調布教会オルガニスト。ヤマハミュージックアベニュー銀座、アトリエバロックオルガン教室講師。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。

大津康平（指揮）
日本大学藝術学部音楽学科声楽コース首席卒業。藝術学部長賞受賞。日本大学大学院芸術学研究科音楽芸術専攻修了。声楽を池田直樹氏、指揮法を川本統脩氏、合唱指揮を大谷研二氏に師事。第83回読売新人演奏会出演。第13回中田喜直記念コンクール2位銀賞受賞。千葉県合唱連盟常任理事。松戸市合唱連盟理事。JCDA日本合唱指揮者協会実行委員。桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。首都圏にて約15の合唱団の指揮を務めている。

黒川和伸（指揮）
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程（音楽教育専攻）修了。声楽を多田羅迪夫、福島明也、指揮法を高階正光、樋本英一、ボイストレーニングを永田孝志、羽山晃生の各氏に師事。VOCE ARMONICA指揮者として全日本合唱コンクール全国大会5大会連続金賞・カワイ奨励賞、声楽アンサンブルコンテスト全国大会第1位金賞を受賞。女声アンサンブルDolce指揮者として全日本おかあさんコーラス全国大会ひまわり賞を受賞。東京藝術大学ALC教育研究助手を経て、現在昭和音楽大学非常勤講師。日本声楽発声学会会員。千葉県合唱連盟理事。松戸市合唱連盟理事長。

仁階堂 孝（指揮）
尚美学園大学、愛知教育大学教職大学院、各講師。現在、Ensemble Evergreenを始めとして10余団の合唱団の常任指揮の他、コンクール審査員、講習会や合唱祭の講師、客演指揮者としても活躍中である。2003年4月にエストニアのタリンで行われた合唱コンペティションTallinn2003 においてEnsemble Evergreen を指揮し室内合唱部門第1位を受賞した。日本合唱指揮者協会理事。



松村 努（司会）
東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。三林輝夫、河瀬柳史の両氏に師事。指揮を黒岩英臣、H.リリンク両氏に師事。現在、神奈川、東京を中心に12の合唱団を指揮、指導をしている。全日本合唱連盟副理事長、神奈川県合唱連盟顧問、日本合唱指揮者協会理事、合唱人集団「音楽樹」幹事、ヨコハマ・コーラルフェスト実行委員長、フェリス女学院大学講師。

松戸ユースクワイア
2021年結成。高校生から若い社会人まで約20名で活動中。2021年北とぴあ合唱フェスティバル「Nコン課題曲講習会」モデル合唱でデビュー。活動拠点の千葉県松戸市のイベントのほか、市外のイベントにも多数出演。公式Twitter・Instagram→@matsudo_youth

VOCE ARMONICA
千葉県内の中高合唱経験者を中心に2007年10月に発足。団名はイタリア語で「調和した声」の意。現在は千葉県のほか、首都圏から約40名が集まり活動している。コンクールへの出場と定期演奏会の開催を活動の柱としており、全日本合唱コンクール全国大会において5大会連続金賞を受賞（2017-2022）している。

Ensemble Evergreen
1998年結成。ア・カペラ作品を中心にルネサンス・バロックから現代音楽まで、幅広いジャンルの楽曲をレパートリーとする。国内外での演奏活動に加え、作曲家と協力した新作の演奏にも積極的に取り組んでおり、来年1月9日にはハクジュホールにて瑞慶覧尚子氏による新作「混声合唱曲集 愛あるところに」の初演を予定している。

藤井宏樹（指揮）
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を畑中良輔氏に、指揮を黒岩英臣氏に師事。現在、全11団体を有する《樹の会》、Ensemble PVDの音楽監督を務める。国内外の合唱コンクールでは高い評価を得て、海外に招聘される機会も多く、近年ではスペイン・トロサ国際合唱コンクール、全日本合唱コンクール等の審査員、合唱講習会の講師、委嘱活動、Tokyo Cantat等の企画も積極的に行っている。21世紀の合唱を考える会　合唱人集団「音楽樹」代表幹事。JCDA日本合唱指揮者協会会員。武蔵野音楽大学非常勤講師。

Ensemble PVD
音楽監督・常任指揮者である藤井宏樹氏と「芸術音楽としての合唱活動」を追求しようと創設。レコーディング、さまざまな音楽イベント、コンサート、教育の場における芸術鑑賞会、Tokyo Cantat出演など幅広い活動を行っている。2009年トロサ国際合唱コンクール<Vocal Group>世俗曲、宗教曲部門にて第3位を入賞。多数CDをリリースしている。

古橋富士雄（指揮）
東京に生まれる。指揮法を斎藤秀雄、作曲を島岡譲、ピアノを宮島敏の各氏に師事。これまでに原信子オペラ研究所の専属ピアニスト、NHK東京児童合唱団常任指揮者（音楽監督）、桐朋学園大学音楽学部講師、東京家政学院短期大学講師、日本合唱指揮者協会理事長、浜松市アクトシティ音楽院音楽監督、NHK「Nコンon the Web」の解説者を歴任する。現在NHK東京児童合唱団名誉指揮者、日本合唱指揮者協会常任相談役、日本コダーイ協会副会長。著書に「合唱のための外国語作品が解る本」「必ず役に立つ合唱の本＝日本語作品編」「合唱のための実践練習書」混声編・女声編・男声編がある。

レガーロ東京
2010年結成。2012年5月、パリ公演にて海外デビュー。2013年、釜山国際合唱祭&コンクールエスニック部門・金賞受賞（1位・単独）。2018年、東京国際合唱コンクール室内合唱部門・金賞受賞。また結成以来、学校教育音楽を中心とした多くのレコーディングやコンサートに参加しているほか、5枚のアルバム作品をリリースしている。

岸 信介（指揮）
国立音楽大学声楽科卒業。指揮法を山田一雄、和声・合唱法を増田順平の各氏に学ぶ。「舫の会」を主宰し、数々の合唱曲を委嘱初演している。現在、全日本合唱連盟名誉会長、東京都合唱連盟顧問、日本合唱指揮者協会会員、東日本合唱祭顧問、日墺文化協会会員。2019年藍綬褒章を受章、第3回くにたち賞大賞受賞。

東京ウィメンズ・コーラル・ソサエティ
作曲家木下牧子氏プロデュースCD「木下牧子女声合唱曲選〜悲しみのようにひそかに〜」の録音をきっかけに2012年に結成。よりクオリティの高い女声合唱を目指し活動している。各種演奏会に出演するほか、作曲家個展演奏会vol.1萩原英彦、vol.2木下牧子を開催。vol.3三善晃を来年1月10日に開催予定。

〈教会コンサートを10倍楽しむ！〉
3つのオンラインセミナー！

Zoomウェビナーによるライブストリーミング配信

待降節、降誕節って？
～教会暦と合唱音楽を学ぶ～
11月14日(月) 19:30～21:00

講師：那須 輝彦（青山学院大学文学部比較芸術学科教授・同大学聖歌隊指揮者）
青山学院大学文学部比較芸術学科教授（音楽学）。立教大学大学院博士後期課程退学。ケンブリッジ大学大学院修士課程修了。中世からバロックにかけての音楽、とくにイングランド教会音楽史と中世の音楽理論を専攻。音楽学を皆川達夫、P.ラ・ヒュアレイに、声楽を橋本周子、E.レインに師事。専攻分野の研究・著述のかたわら、重唱・指揮などの実践活動にも携わっており、2011年から青山学院大学聖歌隊指揮者も務めている。

シャルパンティエ「真夜中のミサ」
～その魅力を語る～
11月18日(金) 19:30～21:00

講師：金澤 正剛（音楽学者・国際基督教大学名誉教授）
プロフィールはP.3をご参照ください。

作曲家座談会 ～モテットを書くということ～
11月23日(水) 19:30～21:00

パネリスト：千原英喜・土田豊貴・寺嶋陸也・なかにしあかね・新実徳英・山中千佳子
司　　会：松村 努（合唱指揮者）

©A.KONDO

◆ 2022年12月31日までアーカイブ配信あり ◆

■ **料金　各1,000円**［コンサートチケット／コンサート配信チケットご購入者は 各500円］
■ 詳しくは JCDA日本合唱指揮者協会　URL：https://jcda1963.jp/　TEL：03-3952-7207

新刊のご案内

●詳細はカワイ出版 ONLINE へ

混声合唱

光・三首	松下　耕	作曲
光のかたち	田中達也	作曲
学ぶ ピース	三宅悠太	作曲
合唱 - もうひとつの - ピース	信長貴富	作曲
希望よりも遠く	石若雅弥	作曲

二部合唱

ともだちシンフォニー	寺嶋陸也	作曲
太陽のこどもたち ピース	相澤直人	作曲

女声合唱

きょうは　いい日だ	信長貴富	作曲
ありがとう 女声三部版 ピース	首藤健太郎	作曲
合唱 - もうひとつの - ピース	信長貴富	作曲
夢の手 ピース	土田豊貴	作曲
座礁船の詩	土田豊貴	作曲
希望よりも遠く	石若雅弥	作曲
ぼくの村は戦場だった - あるジャーナリストの記録 -	信長貴富	作曲

男声合唱

楽譜のアルバム ピース	相澤直人	作曲

2023 年カワイ出版は創立 50 周年を迎えます。これにあわせ様々な企画を予定しておりますのでご期待下さい。

自費出版・企画出版のご案内

あなたの音楽作品や合唱団のオリジナル曲を「楽譜」にしませんか？

カワイ出版では、皆様の自費出版のお手伝いをしております。
右上 QR コードから概算の製作費を含む自費出版概要がご覧いただけます。
自費出版についてはどのような事でもお気軽にご相談下さい。

facebook.com/editionkawai　@editionkawai/　youtube.com/editionKAWAI/　instagram.com/editionkawai/

作曲家 三善　晃による
オリジナルピアノメソードに
関する情報はこちら
LINE公式アカウント Miyoshiメソード

カワイ出版　株式会社全音楽譜出版社　カワイ出版部
〒161-0034　東京都新宿区上落合 2-13-3　TEL.03-3227-6286

「合唱」をもっと楽しく！ もっと豊かに！

お家でお勉強

コーラス・カンパニーのオンライン・セミナー

CHORUS COMPANY

株式会社コーラス・カンパニー
choruscompany.com
Tel: 075-415-8686　E-mail: office@choruscompany.com

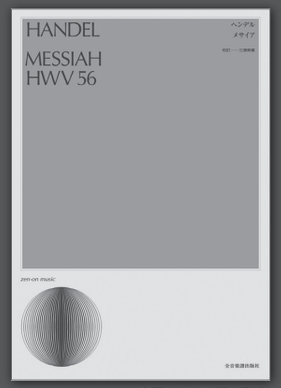
合唱楽譜専門店パナムジカ
PANAMUSICA
https://www.panamusica.co.jp
TEL:075-952-8762

楽譜専門店 クレシェンド アーレ
Crescendo alle
produced by panamusica
https://crescendoalle.com
TEL:075-959-0070

全音版「メサイア」ヴォーカル譜【別冊解説付き】

HANDEL《MESSIAH》

校訂：三澤寿喜　別冊解説：三澤寿喜、辻 裕久、河村泰子



定価：2,970 円（税込）

【特色】

◉全音版「メサイア」は、特定の改訂稿に限定せず、楽曲ごとに最も一般的に演奏されている稿を「本編」とし、それ以外の異稿は「補遺」として掲載。実際にヘンデルが使用したと確認されている異稿は全て掲載しているため、「本編」と「補遺（異稿）」の組み合わせで、「1743 年ロンドン初演版」「1754 年養育院版」など、どの年代の改訂稿でも演奏できます。

◉ベーレンライター版に寄りながら、主な既存のヴォーカル譜も参考にして新しく編纂。ベーレンライター版には含まれなかった異稿を新たに加え、ほぼ全ての異稿が収載されています。

◉「作品について」「上演記録」「対訳」「楽曲ごとの注一覧（演奏解釈、異稿問題について）」「発音について」等の充実した別冊解説付き。

◉楽譜の音符の大きさ、開き具合など、演奏者が使いやすい楽譜にこだわりました。

［お問い合せ］　全音楽譜出版社　〒161-0034 東京都新宿区上落合2-13-3
TEL. 03-3227-6270　FAX. 03-3227-6276

3つの混声合唱団と子どもたちによる

クリスマス コーラス コンサート

指揮　松下 耕
ピアノ　前田勝則

委嘱初演「日本の民謡 第10集」
作曲：松下 耕

2群の混声合唱のための「光・三首」
作詩：宗 左近　作曲：松下 耕
水
匂い
螢 螢 螢

2022 12.25 Sun.
OPEN 15:00　START 16:00
J:COMホール八王子
JR八王子駅南口直結 / 京王八王子駅から徒歩7分

出演
室内合唱団 VOX GAUDIOSA
Gaia Philharmonic Choir
Collegium Cantorum YOKOHAMA
みなみ野キッズシンガーズ

チケット 全席自由
前売：一般 2,800 円／学生 2,000 円／高校生以下 1,000 円
当日：一律 3,000 円
◆LivePocket

お問い合わせ　https://2022xmas.koyukai.info
主催：一般社団法人東京国際合唱機構 ICOT

JCDA

JCDA合唱楽譜シリーズ・合唱楽譜セレクション

AVE VERUM CORPUS
曲 コチャール・ミクローシュ
混声合唱版／同声合唱版　各450円

国来、国来よ
―出雲国引き伝説による混声合唱のために―
Kuniko,Kuniko-Yo
曲 千原英喜／詞 出雲国引き伝説
混声／女声（男声）　各450円

願い～クリスマスの日に～
曲 樹原涼子／詞・編曲 小原 孝
女声合唱　350円

他

＜出版＞ JCDA日本合唱指揮者協会
TEL：03-3952-7207

詳細はJCDA日本合唱指揮者協会　ホームページ
https://www.jcda1963.jp

Spring Seminar 2023

スプリングセミナー 2023

10 周年記念スペシャルコンサート

同声合唱

すてきな友よ 作詞：くらたこここのみ　作曲：アベタカヒロ
いる 作詞：谷川俊太郎　作曲：大熊崇子
子どものはた 作詞：佐藤義美　作曲：信長貴富
山猫の夜 作詞：山本和子　作曲：横山裕美子

長岡亜里奈 指揮 ／ 八千代少年少女合唱団

4年ぶりのリアル開催！

作曲家が会場に勢揃い！
動画配信で発表した 2021-2022 の 12 曲をコンサート形式でお届けします。

司会　藤原規生

女声合唱

夕暮 - 女声合唱とピアノのための - 作詞：谷川俊太郎　作曲：土田豊貴
ふゆはたまもの 作詞：覚 和歌子　作曲：横山潤子
さんざえの祭り 作詞：野呂 昶　作曲：山下祐加
無伴奏女声合唱のための **歌を探そう** 作詞：みなづきみのり　作曲：大田桜子

田中エミ 指揮 ／ おうたや

混声合唱

ひとめぐり - 混声合唱とピアノのための - 作詞：覚 和歌子　作曲：三宅悠太
冬と銀河ステーション 混声合唱とピアノのための 作詞：宮沢賢治　作曲：木下牧子
なみだきらめく - 混声合唱とピアノのための - 作詞：比留間美代子　作曲：三宅悠太
無伴奏混声四部合唱のための **明日** 作詞：新美南吉　作曲：なかにしあかね

松井慶太 指揮 ／ TCM スペシャル・コーラス

日程　2023 年 3 月 28 日 火

会場　東京音楽大学 TCM ホール（中目黒・代官山キャンパス）

詳細はこちら▶

教育芸術社

お問い合わせはこちら
スプリングセミナー実行委員会

TEL : 03-3957-1168
FAX : 03-3957-1740
info@kyogei.co.jp

令和5年度　東京都合唱連盟関係事業予定

東京春のコーラスコンテスト2023

令和5年 2月5日（日）、19日（日）
25日（土）、26日（日）
会場　第一生命ホール　（2/5、19）
浜離宮朝日ホール 音楽ホール
（2/25、26）

第46回 全日本おかあさんコーラス 東京支部大会

令和5年 6月3日（土）、4日（日）
会場　府中の森芸術劇場どりーむホール

第78回 東京都合唱祭

令和5年 7月1日（土）、2日（日）
8日（土）、9日（日）、17（月・祝）
会場　第一生命ホール（7/1、2、9、17）
新宿文化センター（7/8）

第78回 東京都合唱コンクール

令和5年 9月3日（日）、9日（土）、10日（日）
会場　文京シビックホール　大ホール

第38回 シルバーコーラスフェスティバル

令和5年10月8日（日）
会場　浜離宮朝日ホール　音楽ホール

第22回 男声合唱フェスティバル

令和5年11月5日（日）
会場　浜離宮朝日ホール　音楽ホール

JCDA教会コンサート<待降節～クリスマス>
スタッフ

●
製作
JCDA日本合唱指揮者協会 名島啓太

●
JCDA教会コンサート制作委員
仁階堂 孝（制作委員長）・大門康彦・福永一博・藤原規生・松村 努

●
JCDA理事会事業推進開発改良プロジェクトチーム
福永一博（リーダー）・安達陽一・笹口圭吾・清水 昭・大門康彦
仁階堂 孝・藤澤幸義子・藤原規生
古橋富士雄（アドヴァイザー）

●
制作委員
JCDA日本合唱指揮者協会
名島啓太・相澤直人・戸﨑文葉・藤原規生
浅見佳奈子・安達陽一・伊東恵司・笹口圭吾・柴山秀明・清水 昭
清水敬一・大門康彦・竹内雅挙・辻 秀幸
中館伸一・中村拓紀・仁階堂 孝・福永一博・藤澤幸義子・松村 努
大津康平・金田典子・真下洋介
古橋富士雄

●
事務局
打田のり子・合志圭子・真崎恵子・美川明菜

●
Special Thanks !!
堀 麻理（デザイン）／竹中久典（表紙写真）
沼田結花・齊藤歌織（録音・映像撮影・配信）

JCDA 事業インフォメーション

JCDA 合唱の祭典2023

～第23回北とぴあ合唱フェスティバル～

2023. 6/9（金）・10（土）・11（日）開催！

会場：北とぴあ さくらホール ほか

乞うご期待！！

JCDA 《賛助会員》御芳名

池田規久雄／（株）NHKビジネスクリエイト／（株）合唱の家おおば／（株）KRSカトヤ・レコーディング・サービス
ICEC国際文化交流センター／C-Pro LLC 海外公演事務局／晋友会合唱団／文化芸能国際交流機構（ジェクサ）
パナムジカ／舫の会

（50音順、敬称略）

★日本合唱指揮者協会《賛助会員》制度へのご参加のお願い！

これからも日本合唱指揮者協会は魅力ある社会作りに貢献してまいります。皆様の深いご理解と温かいご支援をよろしくお願い致します。
●会員の特典◎本協会主催の演奏会にご招待致します。◎本協会主催の演奏会プログラムを進呈します。
◎指揮者ニュースを満載した会報等を進呈します。etc.……。◎詳細は事務局（電話03-3952-7207）までお問い合わせください

JCDA 日本合唱指揮者協会

理事長	名島啓太
副理事長	相澤直人　戸﨑文葉　藤原規生
理事	浅見佳奈子　安達陽一　伊東恵司　笹口圭吾 清水　昭　清水敬一　柴山秀明　大門康彦 竹内雅挙　辻　秀幸　中館伸一　中村拓紀 仁階堂孝　福永一博　藤澤幸義子　松村　努
実行委員	大津康平　金田典子　真下洋介
監事	粕谷宏美　鈴木茂明
顧問	金澤正剛
常任相談役	古橋富士雄
相談役	浅井敬壹　松浦ゆかり
事務局長	中館伸一
事務局次長	笹口圭吾

相澤　直人　上西　一郎　川妻　干邦　笹口　圭吾　須藤　和子　外山　浩爾　平井　保　宮崎　誠二
赤坂　有紀　薄木　葵　菅野　正美　笹倉　強　関根　裕子　内藤　裕史　平林　清志　三好　草平
浅井　敬壹　梅山　登　菊村　隆史　里井　宏次　芹澤　卓弥　永　ひろこ　平松　剛一　向井　正雄
浅井　順子　江川　典子　岸　信介　佐藤　貴司　曽田　俊和　永井　英晴　廣石　雄司　村田　和子
浅沼　和志　大久保正義　岸本　雅弘　佐藤　匠　大門　康彦　仲子　誠一　福嶋　浩美　村松　賢治
浅野　深雪　太田　務　北川　昇　佐藤　洋人　髙坂　良修　中澤　敏子　福田美知子　元橋　康男
浅見佳奈子　大津　康平　北原　徹　佐藤美紀子　髙嶋　邦幸　長澤　明正　福田　美保　本山　秀毅
足達　勝子　大貫　浩史　木下　朝滋　佐藤　陽三　髙野　洋子　中館　伸一　福永　一博　森田　悠介
安達　陽一　大沼　ケイ　木村　裕平　澤田　洋一　髙橋　基之　中西　秀樹　藤井　正　森永　淳一
阿部佳津子　岡本　尚子　キハラ良尚　鹿内　芳仁　高嶺万喜与　中原　勇希　藤井　宏樹　森本真由美
雨森　文也　岡山　和子　草原　哲広　志澤　彰　滝沢　優子　中村　拓紀　藤澤幸義子　柳嶋　耕太
有田　知永　小川　昌文　窪田　卓　雫石　環　田口　恭子　中村　雅夫　藤原　規生　矢野としゑ
有村　祐輔　奥田　紘治　倉藤　理大　篠田　正臣　詫磨眞樹子　中村　禎子　渕上貴美子　山口　英樹
安藤由布樹　奥寺由起子　倉本　潤季　柴　惠子　竹内　雅挙　名島　啓太　渕上　千里　山瀬　泰吾
飯沼　京子　小黒喜代美　栗山　文昭　柴　郭惠　竹田　享司　仁階堂　孝　古橋富士雄　山田　緑
石井　幸代　尾﨑あかり　黒川　和伸　柴田　由美　武田　雅博　西　康之　本城　正博　山根　明子
石橋　久和　柿﨑　泰裕　桑原　妙子　柴山　秀明　田代　和久　西岡　茂樹　真下　洋介　山宮　正浩
石橋遼太郎　掛江みどり　桑山　博　清水　昭　田中登志生　西牧　潤　益田奈美子　山本　哲也
石原　祐介　粕谷　宏美　小池　芳弘　清水　敬一　田中　豊輝　西本佳奈子　松浦ゆかり　山脇　卓也
磯部　周平　片倉　淳　合田　芳弘　清水　雅彦　田中　安茂　沼丸　晴彦　松下　耕　横田　清文
市瀬　寿子　片野　秀俊　小濱　明　白井　智朗　谷口　紀子　野本　明裕　松田乃利子　横山　琢哉
伊東　恵司　片山みゆき　小向　宏明　白崎　良治　津久井　豊　野本　立人　松永沙耶香　吉田　公子
伊東　剛　勝部　俊行　近藤　基　末廣　正巳　辻　志朗　橋本　剛　松村　努　吉田孝古麿
井戸　清輔　加藤　雅子　犀川　裕紀　末吉　嘉子　辻　秀幸　蓮沼　喜文　間谷　勇　吉田千鶴子
田舎片雄貴　金川　明裕　斉田　好男　須賀　敬一　辻村　成子　長谷川冴子　丸山　惠子　吉野恵美子
井上　慧　蟹江　春香　齋藤　令　杉山　範雄　辻村　美保　長谷部律子　三浦　彰　依田　浩
今井　学　金子　央　境　敬彦　須﨑由紀子　土屋奈津子　初村　則子　三浦真理子　渡辺　佳代
岩﨑　洋一　金田　典子　阪本　健悟　鈴木　和江　寺澤　直樹　早川　幹雄　三木　公子　渡辺　公男
岩田　正彦　辛川　容子　坂本　恒太　鈴木　茂明　当麻　礼子　林　擴子　南方　隼紀　渡辺　宏子
岩本　達明　川上　勝功　坂本　雅代　鈴木　成夫　戸﨑　裕子　原田　昌江　湊　晋吾
岩本　徳　川﨑有希子　佐古　宜道　鈴木　康夫　戸﨑　文葉　樋本　英一　箕輪　健

2022年11月28日（月）19時開演
東京カテドラル聖マリア大聖堂